



青春不再来

「青春不再来」は、大廊下に掲げられている木彫の言葉です。

「学習、生徒会、部活動などに、生徒は一生懸命です。悩んでいる生徒もいます。でも、どの生徒も、かけがえのない中学校生活を精一杯生きている。」という意味です。

最後まであきらめない柿中生徒に感動

校長 大塚 啓



あっという間に梅雨が明け、連日暑い日差しが降り注いでいます。6月に行われた地区各種大会は、36度を超える猛暑となり、特に試合が屋外で行われる野球部、男女ソフトテニス部、特設陸上部の生徒たちは、暑さとの戦いでもありました。全体で給水タイムを設けたり、予定していた試合を延期したりと、難しい大会運営となりました。今回の公式戦は、3年生にとっては、県大会に進出か、それとも引退かの瀬戸際となる大会。どの会場でも、全力で試合に臨む選手達の姿がありました。

ここで、野球大会決勝戦の様子について紹介します。相手は強豪、春日中学校です。1回裏に相手に1点の先制点を許しましたが、2回表に3点を返し逆転、3対1で柿中のリードとなりました。しかし、そのあたりで大降りの雨に見舞われ、1時間の試合中断となってしまいました。その後、試合の流れは相手に傾き、3回裏、4回裏と相手に8点の追加点を許すことに。私は、もう万事休すかと頭を抱えてしまいました。野球部頑張ってくれー、と応援席の保護者の皆さんも祈るような気持ちで選手を見守りました。その後柿中は、チャンスを逃さない足を使った攻撃とタイムリーヒットによって得点を追加していきます。5回表1点、6回表1点、7回表2点と着々と得点を積み上げていきました。その一つ一つの好プレーに柿中大応援団からは大きな声援が沸き上がりました。しかし、結果は今一步届かず…。試合には負けてしまいましたが、柿中野球部の粘り強さ、最後まであきらめない姿勢は見ている人を感動させました。まさにこれが応援したくなるチーム。このような姿は、どの種目の試合でも十分に感じる事ができました。柿中生徒のその姿に大きな拍手を送りたいです。



さて、多くの3年生はここで一つの区切りを迎えました。1, 2年生も含めて、最後まであきらめない姿勢は、スポーツだけではなく、日頃の学習でも同じように大事です。生徒には、全校集会で「学習においても粘り強くあきらめない姿勢を見せてほしい、自分でしっかりと計画を立て、自分の弱点克服に本気で取り組む覚悟を見せてほしい」と訴えました。一日の授業や部活動を終え、家に帰ればヘトヘトなはず。そんな中でも、家庭学習時間をきちんと確保すること。そうやって頭を鍛えることも中学生の大切な仕事です。やればできる、やらなきゃできない何事も。あきらめない姿勢を学習に向ける強い意志を育てよう、これからも指導に力を入れてまいります。ご支援ご協力をよろしくお願いします。

上越地区大会結果

女子ソフトテニス個人で藤山・岸田ペア**2年連続優勝**！団体2位 県大会出場

男子ソフトテニス個人で長ヶ部・高橋ペア**優勝**！団体3位 県大会出場

男子卓球 山賀 陽太 ベスト 16

☆ソフトテニス部 女子

団体戦 第2位 **県大会出場**

(丸山、永井、藤山、岸田、幸平、池野、蓑輪、樫出)

3-0 柏崎第二中

3-0 城東中

2-1 糸魚川中

2-0 城西中

決勝リーグ

2-1 城北中

1-2 鏡が沖中

個人戦

藤山・岸田ペア

優勝

県大会出場

丸山・永井ペア

準優勝

県大会出場



準優勝した永井・丸山ペア



優勝した藤山・岸田ペア

ソフトテニス部 丸山 莉奈

今回の地区大会では、部員一人一人が声を出し、あきらめないプレーができました。

個人戦ではペアと声を掛け合いながらプレーができました。優勝にあと一歩でしたが、準優勝という結果でした。地区大会という大きな大会の決勝を柿中同士で戦うことができて良かったです。

団体戦も準優勝という少し悔いの残る結果でしたが、皆で励まし合い、団結して戦うことができました。そして、以前よりもチームの絆を深められた良い大会となりました。

県大会でも個人・団体ともに実力を最大限に発揮し、良い結果を残せるように全力で頑張ります。

☆ソフトテニス部 男子

団体戦 第3位 **県大会出場**

(相澤、杉本、長ヶ部、高橋、滝澤、小酒井、小関、若月)

2-1 瑞穂中

2-1 城北中

2-1 附属中

決勝トーナメント

2-1 柏崎東中

0-2 吉川中

2-1 糸魚川中

個人戦

長ヶ部・高橋ペア

優勝

県大会出場



優勝した長ヶ部・高橋ペア



☆特設陸上部

男子 砲丸投 土田 紳太 13位

特設陸上部 松下 賢心

今回の大会で僕は 1500mに挑戦しました。長距離は練習量がモノをいう競技です。だから、たくさん自主練習をしました。ただ、陸上部としての練習日がなかなか取れず、きちんとした練習ができませんでした。本番は頑張りましたが、目標の5分30秒には2秒くらい届きませんでした。次は、駅伝に出たいので、それに向けて頑張りたいです。



☆卓球部 男子

予選リーグ敗退 決勝トーナメント進出ならず
個人戦 山賀 陽太 ベスト 16 **県大会出場**

☆卓球部 女子

予選リーグ第1位
予選順位決定戦 敗退 予選グループ2位通過
決勝トーナメント 1回戦 4対1 新井中
2回戦 0対3 糸魚川中 敗退
個人戦 熊木 琴望 ベスト 32



卓球部女子 風間 心羽

この地区大会では、県出場を目指して頑張りました。団体戦では、みんな最後まであきらめずに頑張ったので、負けてしまったけれど、最後にいい試合ができたと思います。個人戦では、自分が苦手なタイプで苦戦することが多かったですが、今まで練習してきたことをすべて出し切ったので、悔いの残らない試合でした。県大会に行けなかったけど、3年生と後輩にいい姿を見せられたのではないかと思います。

☆バレーボール部

予選リーグ第2位
決勝トーナメント
1回戦
2対0 附属中
2回戦
0対2 刈羽中 県大会進出ならず



バレーボール部 佐藤 千櫻

今回の地区大会は悔しい結果となってしまったけれど、全員バレーができて、最高の大会になりました。私は、サーブもトスも最後まで不安定だったけど、それをカバーしてくれた仲間感謝したいです。また、劣勢に立たされた時も皆で声を掛け合いラストで追い上げることができて良かったです。この大会で引退になってしまったけど、3年間バレーをやってきた集大成として、チームの力を最大限発揮できて良かったです。来年後輩たちには、県出場の夢を叶えられるように頑張ってください。

☆野球部

ブロック2位
1回戦
1 4対2 附属中
2回戦
1 4対1 鏡が沖中
ブロック決勝
7対1 1 春日中



野球部 白砂 快人

今回の大会は、3年生の最後の公式戦でした。少し緊張し、不安もありましたが、相手の圧に負けずにプレーできたと思います。1回戦、2回戦とコールドゲームで勝ち上がり、とても良いイメージで決勝戦に臨むことができたと思います。残念ながら、決勝では、負けてしまったけれど、野球部の皆と最後まで全力でプレーできたのは、とてもうれしかったです。

地域ボランティア活動

7月3日(日)に柿崎海岸、直海浜海岸の清掃を行いました。今年度は1区～8区・出羽・あけぼの町内会と直海浜町内会の皆さまと一緒に活動しました。また、三ツ屋浜では5月8日(日)に海岸清掃をすでに行っています。今後も多くの町内会で公民館清掃や地域のゴミ拾い活動、草取りをしていくことになっています。地域みなさんと子どもたちが一緒になって活動できる貴重な機会を、今後も大切にしていきます。

生徒の感想

- ・海岸をきれいにできて良かった。これからもゴミのない海岸にしていきたいです。
- ・地域の人がたくさん集まっていて、一緒に活動できてよかった。



花のある学校 環境美化活動

柿崎中学校の玄関には、多くの花が飾られています。これらの花は、学校の近隣にお住いの小山信子様からご厚意でいただいております。目で楽しむだけでなく、そばを通ると花の香がして、心まで楽しませてくれます。生徒は「きれいな花が学校を華やかにしてくれ、温かい気持ちになる」と喜んでいます。



2年生マナー講習会

新潟県では7月をキャリア教育強調月間として、ふるさと新潟で夢をかなえるため、ふるさとへの愛着や誇りと、自分の将来を設計し、自立して生きていく力をはぐくんでいます。柿崎中学校では、2年生が7月28・29日に職場体験学習を計画しています。7月4日にはマナー講習会を実施しました。あいさつやお辞儀の仕方と相手に与える印象が変わることを学習し、職場体験学習で実践することへの期待を膨らませていました。



新潟県教育委員会より 広報誌「かけはし」発行のお知らせ

日頃より、本県の教育活動について御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。この度、新潟県教育委員会において教育広報誌「かけはし」52号が作成されましたので、御高覧いただきますようお願いいたします。

※データは新潟県HPに掲載しておりますので、下記URL又はQRコードからご確認ください。

記

- 1 「かけはし」52号掲載ページ

<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/kyoiku/1191169877149.html>

- 2 QRコード

右上

